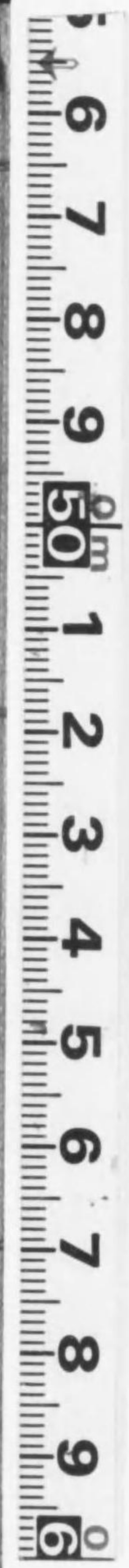


臨終節要

完

特 259

146



始



特259
146

女信慶智釋院常淨



照小自刀子ねつ村川

昭和十一年八月下旬
 川部氏を重佐巻
 義眼視象生
 山田水俊氏贈
 八月十日

山田水俊氏贈



森半逸翁贈

はしがき

昭和十一年八月下旬。繼母つね、二豎に冒されたり、との報に接し急遽歸岐、其病狀を見るに、母は平生の持病たる、溜飲なりとて、餘りにも意に介せず、然れども一見平素の元氣に缺くる處あるを覺ゆ。更に醫師の診察に依れば、所謂老衰病なりとのことなるが、年は七十一歳と雖も、平素頑健を誇れるを以て老衰病と云ふが如きにあらざるべきに、然し日常の嗜好物等の栄養價を考査する時は、營養不足に原因する早老病に、あらざるなきかを、即ち母の日常嗜好する食物はお茶漬主義にて、魚類にては蛸を第一として、其他は嗜好の部に入らず、果物は

柿以外は食せず。牛乳、鶏卵、スープ等は大の禁忌物とせり。如此にして病魔の犯すあれば、生理的に對抗は困難なるべきを慮り、泥縄式の感あるも現代科學に基きたる營養食物の攝取を勧めたるも、既に死期至れりとして斷乎之を排し、只求むる處は、少量の粥、重湯、うどん、水にて、醫師の投薬も藥物注射も之を斥けて肯せず。終に十月七日、午後二時五十五分。煙の立のぼり消えゆくが如くにして 往生を遂げたり。

豫め死期を悟り自ら餘終を待ちたる母は、大満足、大恐悅なるべきも、子として殊に義理の仲なる、予としては、一日も永く母の延命を期するの恩義あるを痛感するものなるに、意外な

る永訣は、予として残念に思ふ處なり。

近來食養衛生に於て蔬菜萬能を高唱するものあるも、往時の如く人口稀薄空氣清澄にして、大氣中に多量の榮養を存する時代と現今の如く、空氣中に煙毒始め、あらゆる毒瓦斯の充滿する時代には、食養衛生に適應したる、注意を拂はざるべからざるに、母のごときは、之を無視したる典型にはあらざる無きか。予爰に所藏する古典『臨終節要』を複製し、故母つね法名『淨常院釋智慶信女』冥福の爲。且つ前車の覆へるを見て後車の戒ともならんかと之を世に頒たんとす。

抑も『臨終節要』に載する處の高僧の諸説は、現代に即せざ

るものとして冷笑せる人無きにしも非らず、予は窃に思ふ。人生の最大事たる生老病死の問題に關し、平生の覺悟を示したるもの、金科玉條の至言と信ず。熟讀玩味あらんことを。

此書の複製に際して野田醒石君には、複寫校監の勞を煩し、西濃印刷會社長河田貞次郎老には印刷裝禎に就て兩々細心の注意を得たり。その事を記して深く好意を感謝す。

昭和丙子の歲次霜月十日亡母五七日忌誌之

岐陽金華山麓於治國平天下堂

藍南 川村數郎

會葬弔問芳名錄

昭和十一年十月九日快晴。於市内木造町蓮生寺。舉行告別式

配列。伊呂波順。倉皇脱稿。校正不到。誤謬請寬恕。

縣社伊奈波神社殿	岐阜市	伊藤 駒	吉殿	大阪市	井上 正	義殿	岐阜市
伊藤 左門殿	同	伊丹 松	雄殿	東京市	井口 延次郎殿	東京市	
伊藤 俊彰殿	同	井川 鐵	吉殿	岐阜市	井戸 川辰三殿	同	
伊藤 直二郎殿	同	井川 茂子殿	同	同	井藤 俊明殿	岐阜市	
伊藤 榮治殿	同	井上 孝哉殿	東京市		井深 いわを殿	同	
伊藤 房子殿	同	井上 去よう殿	岐阜市		井 筒 家殿	同	
伊藤 保次郎殿	郡上郡	井上 七太郎殿	同		今川 幸一殿	同	
伊藤 藤平殿	海津郡	井上 富一殿	大垣市		今井 伍介殿	東京市	
伊藤 常七殿	名古屋市	井上 稻太郎殿	名古屋市		今井 巳之吉殿	同	
伊藤 仁太郎殿	東京市	井上 一太郎殿	東京市		今井 丑松殿	奈良縣	
伊藤 健三殿	同	井上 角五郎殿	同		今村 武志殿	樺太	
		井上 憲一殿	同		今村 金三殿	兵庫縣	

石原留吉殿	石黒久子殿	石田庫治殿	石田傳之進殿	石倉千次殿	石渡敏一殿	石塚榮藏殿	石塚嘉貞殿	石野驒策殿	石山俊殿	石山市太郎殿	石井仙太郎殿	石井鐵之介殿	今福豊平殿	今村忠助殿
高松市	同	同	岐阜市	同	同	東京市	岐阜市	大阪市	同	岐阜市	名古屋市	同	同	東京市
稻葉芳雄殿	磯田二郎殿	磯野久吉殿	磯貝浩殿	磯村年殿	猪野毛利榮殿	岩瀨亮殿	岩谷二郎殿	岩見宗七殿	岩部三郎殿	岩崎喜三郎殿	岩屋ふさ殿	岩屋たま殿	岩田安七殿	石上林次郎殿
同	岐阜市	不破郡	名古屋市	同	同	東京市	京城府	武儀郡	岐阜市	大阪府	名古屋市	同	岐阜市	東京市
池田泰親殿	池田清殿	池田勝山殿	池田家殿	池田梅次郎殿	池上重雄殿	五百木良三殿	市岡年雄殿	市田太郎殿	市小松殿	市川九市殿	市川壽一殿	稻川巳之吉殿	稻垣孝照殿	稻葉淺吉殿
東京市	札幌市	可兒郡	同	同	岐阜市	東京市	惠那郡	札幌市	同	同	岐阜市	東京市	京都市	東京市

服部貞之助殿	服部常三郎殿	服部高一殿	服部正殿	は之部	五十嵐喜廣殿	泉善七殿	犬塚勝太郎殿	一富士殿	一柳貞吉殿	一富士殿	飯尾藤次郎殿	飯田幾次郎殿	板垣糸吉殿	乾貞夫殿	乾彦治殿
同	同	同	岐阜市		稲葉郡	岐阜市	静岡縣	同	東京市	岐阜市	静岡縣	同	岐阜市	京都市	岐阜市
林定藏殿	林勇助殿	林清一殿	林秀雄殿	林龜吉殿	林茂殿	林謙之丞殿	林悦次郎殿	林周一郎殿	林晃三殿	林六藏殿	服部きぬゑ殿	服部ふきの殿	服部繁殿	服部捨吉殿	服部捨吉殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	岐阜市
長谷川久一殿	長谷川庄太郎殿	長谷川美州殿	長谷川豊一殿	長谷川爲吉殿	長谷川むめ殿	林盛四郎殿	林千代子殿	林重助殿	林幸好殿	林武平殿	林兵馬殿	林哲美殿	林章二殿	林忠三郎殿	林忠三郎殿
東京市	同	同	同	同	岐阜市	大津市	愛知縣	滋賀縣	同	同	同	同	東京市	武儀郡	武儀郡

初浪	初瀾	初瀾	初瀾	春ぼん	春井	春駒	春喜三	花田浩	花房仙太	花富	花士殿	花本殿	萩尾末	萩谷伴	長谷川彌八郎殿
花殿	生殿	富殿	咲殿	ム殿	筒殿	家殿	郎殿	太殿	郎殿	同	同	同	京殿	作殿	東京市
同	同	同	同	同	同	同	岐阜市	東京市	岡山市	同	同	岐阜市	京殿	福島縣	東京市
羽賀一三殿	羽賀萬四郎殿	葉梨新五郎殿	葉山千花殿	濱口吉兵衛殿	濱田東稻殿	濱田勝藏殿	馬場辰二殿	馬場京殿	早野宗太郎殿	早崎敬藏殿	早川寅二郎殿	早野卯一殿	原丈太郎殿	原誠殿	原篤三殿
東京市	岐阜市	東京市	京殿	千葉縣	同	同	東京市	同	岐阜市	名古屋市	不破郡	同	同	東京市	岐阜市
西村五郎兵衛殿	西脇才一殿	西脇健吉殿	西脇新吉殿	西本茂平殿	西川小房殿	西川與三郎殿	西川松京殿	西川吉三郎殿	鳩山一郎殿	波山良勝助殿	畑山四男美殿	秦高治殿	箱田市藏殿	橋本五雄殿	東京市
同	郡上郡	安八郡	同	同	同	同	同	岐阜市	東京市	岐阜市	福岡縣	同	同	東京市	

堀江かす殿	堀三佐丸殿	堀庄七殿	堀千尋殿	堀喜三郎殿	堀鎌次郎殿	堀甚平殿	仁科爲治殿	丹羽高通殿	丹羽六一殿	丹羽氏彦殿	西浦章輔殿	西岡竹次一殿	西山盛郎殿	西村保吉殿
岐阜市	東京市	同	同	同	同	岐阜市	松本市	武儀郡	同	同	同	東京市	稲葉郡	東京市
堀江秀雄殿	堀江徹夫殿	堀井良祐殿	堀井芳三郎殿	堀井とう殿	堀場初子殿	堀内文次郎殿	星一殿	星信吉殿	本庄繁殿	本田秋憲殿	本田仙太郎殿	本田福之助殿	別當好平殿	堀江秀雄殿
東京市	同	大津市	同	大阪市	岐阜市	東京市	同	同	同	同	東京市	同	東京市	東京市
と之部	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿	豊田とく殿
岐阜市	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
道家の由	時家の由	登美川殿	富塚文雄殿	富田萬吉殿	富田家殿	富田家殿	富田家殿	富田家殿	富田家殿	富田家殿	富田家殿	富田家殿	富田家殿	富田家殿
同	同	岐阜市	東京市	大垣市	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

東松辰次郎殿 愛知縣
 東光商會社毛絲部殿 京城府
 東光商會社殿 同
 戸田新太郎殿 岐阜市
 戸田銳之助殿 大垣市
 戸井嘉作殿 横濱市
 戸井鐵司殿 不破郡
 土井鐵一殿 岐阜市
 部谷數一殿 岐阜市
 徳田昂平殿 東京市
 徳富猪一郎殿 同
 徳光光太郎殿 大阪市
 頭山滿殿 東京市
 殿木三郎殿 神奈川縣
 所作太郎殿 大垣市
 床次正一殿 東京市

ち之部
 千代 鈴殿 岐阜市
 千葉 卯吉殿 同
 近松卯三郎殿 京都市
 中馬吉太彦殿 岐阜市
 中央蒲業同業組合殿 本巢郡
 茅野要之助殿 東京市
 陣軍 吉殿 宮崎縣
 り之部
 李相 雲殿 岐阜市
 立憲政友會岐阜縣支部殿 同
 を、お之部
 大野重治殿 東京市
 大野伴睦殿 同

大野慶次郎殿 名古屋市
 大野真萩殿 稻葉郡
 大野嘉久殿 山縣郡
 大野てり子殿 岐阜市
 大野武助殿 同
 大野愛子殿 同
 大野精一殿 同
 大野勇殿 同
 大野定七殿 同
 大野藤吉殿 同
 大橋助三郎殿 同
 大橋とめ殿 同
 大橋員惠殿 同
 大橋保殿 同
 大橋常三郎殿 東京市
 大橋九平治殿 同

太田清藏殿 東京市
 太田忠助殿 同
 太田芳雪殿 同
 太田周作殿 盛岡市
 太田初次郎殿 稲葉郡
 太田兵太郎殿 岐阜市
 太田増太郎殿 同
 太田新太郎殿 同
 大塚清質殿 東京市
 大塚徳次郎殿 岐阜市
 大塚銀二殿 同
 大倉太一郎殿 同
 大沼漸殿 東京市
 大神田軍次殿 同
 大神彌十郎殿 武儀郡
 大熊三之助殿 岐阜市

大崎かつ殿 岐阜市
 大場哲吉殿 同
 大池蔦江殿 同
 大西庄一殿 同
 大竹章殿 同
 大村喜覺殿 東京市
 大藏公望殿 同
 大洞勘次殿 名古屋市
 小川く に殿 東京市
 小川活三殿 大垣市
 小川惣吉殿 同
 小川理三郎殿 揖斐郡
 小川信一殿 岐阜市
 小川そ う殿 同
 小川ゆ う殿 同
 小川精三郎殿 同

小野 榮殿 大阪市
 小野安吉殿 岐阜市
 小野市助殿 同
 小野光太郎殿 同
 小野長濤殿 東京市
 小澤萬次郎殿 羽島郡
 小澤玉市殿 山縣郡
 小野木勘三殿 岐阜市
 小笠原長生殿 東京市
 小笠原三九郎殿 同
 小野鳥專吉殿 岐阜市
 小原光義殿 同
 小田茂殿 同
 奥田伊之助殿 同
 奥田壽一殿 大垣市
 奥山彦夫殿 岐阜市

岡田忠彦殿	岡田芳尾殿	岡田豊吉殿	岡本正五郎殿	岡本經紀殿	岡本友次郎殿	岡本正樹殿	岡本太右衛門殿	岡喜七郎殿	岡秀雄殿	奥平芳治殿	奥平俊藏殿	奥平昌泰殿	奥村國三郎殿	奥村京一殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
東京市	同	岐阜市	同	東京市	同	同	岐阜市	東京市	同	岐阜市	同	東京市	羽島郡	岐阜市

渡邊新一殿	渡邊甚吉殿	王子製紙株式會社殿	折戸芳太郎殿	おもだか家殿	沖島鎌三殿	扇村市兵衛殿	長村市兵衛殿	織田恭三殿	尾關幸亮殿	岡井藤之丞殿	岡山仁兵衛殿	岡嶋新七殿	岡川時之丞殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	岐阜市	東京市	岐阜市	岐阜市	東京市	同	同	同	同	同	同	同	岐阜市

若竹三枝殿	若柳吉政子殿	若吉水殿	若吉本殿	若山久三殿	若山ゑい殿	和田市平殿	和田嘉一殿	和田重治殿	渡邊道太郎殿	渡邊亮作殿	渡邊誠一殿	渡邊民平殿	渡邊松三郎殿	渡邊晴彦殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	岐阜市	同	東京市	稻葉郡	同	同	同	東京市	同	岐阜市

加藤常吉殿	加藤光太郎殿	加藤富平殿	加藤萬太郎殿	加藤國三郎殿	加藤角太郎殿	か之部	分末廣殿	若原丑松殿	若尾圓次郎殿	若吾妻殿	若登美殿	若池田殿	若松殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	岐阜市	同	岐阜市	揖斐郡	土岐郡	同	同	同	岐阜市

加藤庄八殿	加藤慶一殿	加藤清二郎殿	加藤とめ殿	加藤くよ殿	加藤とつ殿	加藤とら殿	加藤とら殿	加藤とら殿	加藤とら殿	加藤とら殿	加藤とら殿	加藤とら殿	加藤とら殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
岐阜市	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

河合甚助殿	河合重弘殿	河合喜助殿	河村鶴三殿	河村辰次郎殿	河村新九郎殿	河村房吉殿	河村房一殿	加賀敏夫殿	加納五郎殿	加納条吉殿	加納均一殿	加藤義昇殿	加藤秀一殿	加藤伴司殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

川島忠右衛門殿	川島義之殿	川島新祐殿	川島幸助殿	河島辰之助殿	河島源太郎殿	河原三郎殿	河内家殿	河野九兵衛殿	河口松太郎殿	河口榮吉殿	河田政七殿	河田貞次郎殿	河合金太郎殿	河合藤七殿	河合市郎殿
京都市	京都市	同	同	同	岐阜市	京都市	同	同	同	岐阜市	可兒郡	岐阜市	名古屋	京都市	稻葉郡
川乃家殿	川本丑之助殿	川口義久殿	川瀬新一殿	川瀬省吾殿	川瀬仙次郎殿	川原徳平殿	川原ふさへ殿	川崎市三郎殿	川村源吉殿	川村とく殿	川村竹治殿	川村春殿	川村松太郎殿	川島新兵衛殿	川島庄之助殿
岐阜市	京都市	京都市	羽島郡	安八郡	岐阜市	稻葉郡	同	岐阜市	京都市	大阪市	京都市	大阪市	岐阜市	同	京都市
笠原太郎殿	荻谷定吉殿	荻谷榮一殿	柿内與吉殿	柿田吉次殿	柿田はま殿	片桐文治郎殿	片桐豊次郎殿	片桐龍三郎殿	片桐龍子殿	片山久藏殿	神谷勇吉殿	神林虎雄殿	神部錠之助殿	神田福太郎殿	川吉本殿
同	同	同	岐阜市	同	京都市	同	同	同	同	岐阜市	同	京都市	同	同	岐阜市

笠原吉造殿	金森潔殿	金森潔殿	金森敏彦殿	金岩隆三殿	金坂昇殿	金田房吉殿	金光庸夫殿	金澤正雄殿	龜山平殿	龜谷慎一殿	柏谷家殿	柏木重殿	香取久殿	
岐阜市	京都市	同	愛知縣	岐阜市	同	同	京都市	京都市	同	京都市	岐阜市	京都市	岐阜市	
蒲ヶ原萬吉殿	葛飾精美殿	兼松熱殿	桎村弘道殿	影山七太郎殿	鎌田勝太郎殿	風間八右衛門殿	梶原仲治殿	よ之部	吉田勝殿	吉田榮藏殿	吉田健一郎殿	吉田虎三郎殿	吉田琴殿	
岐阜市	大垣市	名古屋	京都市	同	香川縣	京都市	京都市	同	京都市	大垣市	武儀郡	養老郡	岐阜市	
吉田卯一殿	吉田鐵夫殿	吉安熊市殿	吉岡初太郎殿	吉野金三郎殿	吉村良雄殿	吉本内吉枝殿	吉本内美殿	吉本内吉奴殿	吉本内吉本殿	吉本内吉本殿	吉本内吉本殿	横山廣助殿	横山弘殿	横山宗右衛門殿
同	同	大垣市	廣島市	岐阜市	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

高橋嘉津美殿	高橋喜之助殿	高橋義正殿	米澤豐治殿	米澤福殿	よね藤殿	米本重藏殿	米山登喜次郎殿	横尾治八殿	横幕利一殿	横井志つ殿	横山彦六殿	横山助次郎殿	横山房殿	
同	同	岐阜市	東京市	同	同	岐阜市	養老郡	京城市	安八郡	岐阜市	東京市	羽島郡	稻葉郡	
高島忠兵衛殿	高島嘉七殿	高井嘉昌殿	高井新吉殿	高木喜太郎殿	高木絲次郎殿	高橋宗太郎殿	高橋直乾殿	高橋量實殿	高橋松吉殿	高橋豐次郎殿	高橋弘子殿	高橋勝三殿	高橋貫市殿	高橋義昂殿
同	稻葉郡	本巢郡	不破郡	同	同	岐阜市	安八郡	東京市	本巢郡	武儀郡	同	同	同	岐阜市
高增福藏殿	高山直純殿	高砂浦五郎殿	高草仁吉殿	高須芳次郎殿	高瀬かつ殿	高屋時次郎殿	高田猛殿	高田信行殿	高田健造殿	高田範幸殿	高田覺殿	高島菊次郎殿	高島嘉七殿	高島嘉七殿
同	同	東京市	堺市	東京市	武儀郡	同	名古屋市	東京市	同	同	岐阜市	東京市	羽島郡	羽島郡

田邊秀雄殿	田原吉太郎殿	田原吉太郎殿	田内領之助殿	田島久作殿	田幡鐵太郎殿	田畑勝次郎殿	田村豊一殿	田中善次郎殿	田中善次郎殿	田中鐵三郎殿	田中鐵三郎殿	田中勘市殿	田中松五郎殿	田中時次郎殿	田中草也殿
岐阜市	大阪市	同	岐阜市	同	東京市	名古屋市	東京市	名古屋市	同	羽島郡	同	同	同	同	岐阜市
竹下文隆殿	竹内伊之助殿	竹中千尋殿	竹中滿壽吉殿	竹中太吉殿	棚橋昌雄外十四名殿	棚橋幸作殿	棚橋五郎殿	棚橋ちか子殿	棚橋信雄殿	棚橋秋治殿	棚橋秀覺殿	棚橋景一殿	田村義治殿	田子義治殿	田子義治殿
東京市	稻葉郡	不破郡	羽島郡	岐阜市	兵庫縣	稻葉郡	安八郡	同	同	同	同	同	同	東京市	岐阜市
玉菊本殿	玉木芳助殿	玉田源太郎殿	玉井幸八郎殿	玉山桂一殿	武山富藏殿	武山富藏殿	武山富藏殿	竹山壽夫殿	竹山浪花殿	竹田りう殿	竹澤太一殿	竹島すゝ殿	竹村信次郎殿	竹村信次郎殿	竹村信次郎殿
同	同	同	同	同	岐阜市	同	同	同	同	岐阜市	東京市	同	同	同	岐阜市

大同洋紙店殿 大阪市
 大同洋紙店京都支店殿 京都市
 大同洋紙店東京支店殿 京都市
 大同洋紙店名古屋支店殿 名古屋市
 大日本國粹會本部殿 京都市
 大 覺 寺殿 岐阜市
 大道寺慶男殿 同
 瀧川源治殿 本巢郡
 瀧上兼次郎殿 京都市
 瀧脇宏元殿 同
 建部松三郎殿 岐阜市
 鷹木種次郎殿 京都市
 宅野田夫殿 京都市
 谷野源吉殿 大阪市
 谷川茂次郎殿 京都市
 谷汲山華嚴寺殿 揖斐郡

楯山治三郎殿 京都市
 立川辰次郎殿 大垣市
 立川兼太郎殿 岐阜市
 辰 巳殿 同
 璋 家殿 同
 七之部
 園部喜吉殿 岐阜市
 宗宮與吉殿 同
 宗宮信次殿 京都市
 相宮勇殿 岐阜市
 曾根久和殿 同
 添田敬一郎殿 京都市
 染乃家殿 岐阜市
 つ之部
 辻清吉殿 岐阜市

辻 嘉六殿 京都市
 塚原六彌殿 岐阜市
 塚原寅吉殿 京都市
 塚松龍泉殿 知多郡
 土屋禎一殿 岐阜市
 土川誠一殿 本巢郡
 土田藤重郎殿 西宮市
 都築之殿 岐阜市
 葛 廼 家殿 同
 葛 本殿 同
 槌谷祐八殿 大垣市
 露木龜太郎殿 京都市
 佃 信 夫殿 同
 鶴 扇殿 岐阜市
 坪井てる殿 京都市

ね之部
 根岸治右衛門殿 千葉縣
 な之部
 中井三之助殿 京都市
 中井商店殿 同
 中井商店大阪支店殿 大阪市
 中井支店京都支店殿 京都市
 中井商店名古屋支店殿 名古屋市
 中井商店名古屋支店各員
 代表 田畑勝次郎殿
 中井利吉殿 岐阜市
 中井孝教殿 同
 中村信夫殿 同
 中村かね殿 同
 中村さみ殿 同
 中村丈助殿 京都市

中村金太郎殿 京都市
 中川三右衛門殿 岐阜市
 中川 博殿 同
 中川潤吉殿 名古屋市
 中川吉太郎殿 京都市
 中川出来太郎殿 廣島市
 中西美胤殿 岐阜市
 中西清殿 同
 中西廣殿 京都市
 中島常助殿 岐阜市
 中島 豐殿 同
 中島 茂殿 同
 中尾義正殿 岐阜市
 中 富 士殿 同
 中路らく殿 同
 長尾兼松殿 同

長良勇次郎殿 岐阜市
 長良源次郎殿 同
 長森梅太郎殿 岡山縣
 仲上忠平殿 郡上郡
 内藤宗一殿 岐阜市
 内藤成龍殿 同
 永井眞楠殿 同
 名和梅吉殿 同
 成瀬忠次郎殿 同
 成瀬 勳殿 同
 夏原由太郎殿 同
 梨畑初治殿 同
 武藤啓次郎殿 岐阜市
 武藤益一殿 同

武藤類治郎殿 岐阜市	武藤為吉殿 同	武藤ゆき殿 同	武藤源吉殿 武儀郡	武藤七郎殿 東京市	武藤庄吉殿 岐阜市	村瀬柳吉殿 同	村瀬喜左衛門殿 同	村瀬さた殿 同	村瀬源市殿 稲葉郡	村瀬伊三郎殿 東京市	村瀬つね子殿 同	村田俊彦殿 岐阜市	村田禎造殿 東京市	村井代助殿 岐阜市	村山藤吉殿 同
村木まさ殿 岐阜市	向井倭雄殿 東京市	う之部	白井大之丞殿 岐阜市	白井長五郎殿 不破郡	上木甚四郎殿 大野郡	鶴飼時次郎殿 武儀郡	鶴飼ホテル殿 岐阜市	梅田多平殿 同	梅田の家殿 同	梅影忠三殿 東京市	牛田清次郎殿 岐阜市	宇野政二殿 同	卯月殿 同	歌住殿 同	海木嘉十郎殿 門司市
内田良平殿 東京市	内田秀四郎殿 神奈川縣	の之部	野田繁三郎殿 羽島郡	野田治三郎殿 同	野田善三郎殿 岐阜市	野田醒石殿 同	野田省策殿 同	野村龍太郎殿 東京市	野村國雄殿 岐阜市	野村幸助殿 東京市	野村忠造殿 岐阜市	野須範一郎殿 同	野口芳之丞殿 同	野倉弘殿 武儀郡	

野呂駿三殿 可兒郡 名古屋市	く之部	桑原善吉殿 岐阜市	桑原久吉殿 同	桑原戒心殿 同	桑原正睦殿 同	桑原權之助殿 養老郡	桑原虔殿 東京市	栗本清作殿 岐阜市	栗本利吉殿 同	栗本鐵次郎殿 同	栗本辰五郎殿 同	栗本富三郎殿 同	栗本好夫殿 同		
栗本甚一郎殿 岐阜市	栗本すゝゐ殿 同	栗林慎二殿 東京市	栗原宗太郎殿 京都市	熊田藤四郎殿 岐阜市	熊田徳松殿 同	汲田吉三郎殿 同	國藤千代造殿 同	國井しう殿 同	國島富三郎殿 同	草野小一郎殿 揖斐郡	草場一平殿 東京市	黒柳貫一殿 岐阜市	黒宮たつ殿 同	日下部庄吉殿 大垣市	日下安太郎殿 岡山市
藏園三四郎殿 東京市	樽松喜一郎殿 京都市	葛生能久殿 東京市	倉元要一殿 同	や之部	山田永俊殿 岐阜市	山田三郎殿 同	山田吉藏殿 同	山田嘉兵衛殿 同	山田永一殿 同	山田勝二郎殿 同	山田岩吉殿 同	山田豊吉殿 同	山田豊吉殿 同	山田鶴吉殿 同	

山口 龜藏殿 同	山口 熊野殿 同	山本 菊次郎殿 同	山本 達雄殿 同	山本 清之助殿 同	山本 千秋殿 同	山中 乙人殿 同	山中 喜美子殿 同	山中 勇殿 同	山中 康照殿 同	山中 金藏殿 同	山田 惣一郎殿 同	山田 光太郎殿 同	山田 克次郎殿 同	山田 嘉一郎殿 同	山田 新三郎殿 同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
矢野 嘉右衛門殿 同	矢野 利一殿 同	山崎 久太郎殿 同	山崎 丈夫殿 同	山口 新吉殿 同	山口 恒太郎殿 同	山北 かね殿 同	山北 鏗二殿 同	山村 森藏殿 同	山村 鏗二殿 同	山科 敏殿 同	山下 三次殿 同	山下 幹司殿 同	山下 幹司殿 同	山崎 久太郎殿 同	山口 新吉殿 同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
八幡 秀吉殿 同	八幡 逸郎殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同	柳和 園殿 同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

松浦 太八殿 同	松浦 蓮登殿 同	松浦 竹松殿 同	松浦 幸八殿 同	松浦 柳一殿 同	松原 弘殿 同	松原 佳久齋殿 同	松原 東一殿 同	松原 喜八殿 同	松原 健之助殿 同	松原 銀二殿 同	松本 良久衛殿 同	松本 良吉殿 同	松本 久衛殿 同	松尾 國松殿 同	ま之部 松殿 同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同	藤井 順太郎殿 同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

藤井銀作殿 岐阜市	藤井藤吉殿 武儀郡	藤本幸殿 東京市	藤原銀次郎殿 同	藤間勘右衛門殿 同	藤田勇吉殿 岐阜市	藤生安太郎殿 東京市	藤山良枝殿 名古屋市	藤森阿代殿 京城府	古田茂市殿 岐阜市	古田茂吉殿 同	古田泰吉殿 同	古田清殿 同	古田巳之助殿 同	古川徳次郎殿 京城府	福小松殿 岐阜市			
福永正吉殿 岐阜市	福家殿 同	福ほんだ殿 同	福壽美殿 同	福の家殿 同	福松廣殿 同	福千松年殿 同	福廣月殿 同	福喜多精之助殿 東京市	服岡殿 岐阜市	古田健市殿 同	古田美之助殿 同	古田直治殿 武儀郡	古田金十郎殿 武儀郡	古井由之殿 大垣市				
古池團造殿 岐阜市	富士梅殿 同	富士家殿 同	富士本殿 同	富士美殿 同	ふくべ殿 同	文常盤殿 同	船越光之丞殿 東京市	船越光輔殿 同	二子石官太郎殿 同	こ之部					後藤寛一殿 岐阜市	後藤利三郎殿 同	後藤久次郎殿 同	後藤玉吉殿 同

後藤つね殿 岐阜市	後藤春一殿 同	後藤安太郎殿 羽鳥郡	後藤鷹太郎殿 同	後藤鞠四郎殿 東京市	後藤廣次郎殿 岐阜市	小島捨二郎殿 同	小島秀雄殿 同	小島長洲殿 同	小島勇之助殿 京都市	小島顯吉殿 羽鳥郡	神山政一殿 岐阜市	神山末吉殿 稲葉郡	小坂井末吉殿 同	小坂井誠一殿 同				
小坂井喜一殿 岐阜市	小林喜一郎殿 同	小林房次郎殿 東京市	小柳津六藏殿 同	小柳津宗吾殿 東京府	小森悦三郎殿 岐阜市	小松留吉殿 東京市	小松野殿 岐阜市	小柳權太郎殿 同	小早川平吉殿 同	小好通殿 同	小見山儀太郎殿 羽鳥郡	小山田儀一殿 同	小山田俣助殿 東京市	小磯國昭殿 京城府				
小櫻殿 岐阜市	廣樂殿 同	廣月殿 同	鴻池忠二郎殿 大阪市	鴻池忠三郎殿 同	五島捨次郎殿 岐阜市	金光教婦人會殿 同	公伯殿 同	元、系之部					遠藤新作殿 岐阜市	遠藤健三殿 同	江崎周吉殿 同	江口政一殿 同	江川戸川殿 同	江川銚祐殿 不破郡

て之部	寺島和作殿	岐阜市	寺澤重五郎殿	同	寺田市正殿	東京市	あ之部	安樂寺殿	岐阜市	安乘院殿	同	安藤竹次郎殿	同	安藤由治郎殿	同	安藤いそ殿	同	安藤鐵二郎殿	同	安藤芳吉殿	同	安藤勝彌殿	同	安藤たつ殿	同	安藤由三殿	同		
安藤治八殿	本集郡	安藤喜代治殿	名古屋市	安藤治子殿	横須賀市	安藤正純殿	東京市	青木修一郎殿	岐阜市	青木文四郎殿	羽島郡	青木知四郎殿	稲葉郡	青木幸殿	東京市	青木信光殿	同	青山才殿	羽島郡	青山干支殿	武儀郡	浅野真一殿	岐阜市	浅野儀一殿	同	浅野孝司殿	同		
浅野静一殿	岐阜市	浅野朝榮殿	同	浅野田鶴子殿	大垣市	浅野景巖殿	不破郡	浅野政雄殿	名古屋市	浅野てる殿	同	浅野順一郎殿	静岡縣	浅岡信三郎殿	稲葉郡	浅岡信堂殿	京都市	浅井松次郎殿	岐阜市	浅井與七殿	同	浅井幸殿	同	浅井清一殿	羽島郡	浅井昌雄殿	京都市	赤塚禮殿	岐阜市

赤堀儀三郎殿	同	赤松一雄殿	東京市	秋田稔藏殿	堺市	秋庭真男殿	岐阜市	東虎一殿	同	朝富士殿	同	有川吾殿	同	吾妻家殿	同	足立頼一殿	稲葉郡	阿部かき殿	愛知縣	芥川兵吉殿	東京市	穴水とみ殿	同	荒木貞夫殿	同	さ之部	同	阪井彌十郎殿	岐阜市		
阪井雅太郎殿	岐阜市	坂井田寅次郎殿	同	坂口辰治郎殿	同	坂口千秋殿	同	坂倉久吉殿	羽島郡	坂野愛子殿	岐阜市	佐藤宗六殿	同	佐藤音市殿	同	佐藤きぬ殿	同	佐藤近一殿	同	佐久間周吉殿	同	佐竹直太郎殿	養老郡	佐野澄江殿	東京市	佐々木忠雄殿	同	佐々木保次郎殿	満洲		
佐々木幸雄殿	京都市	櫻内幸家殿	岐阜市	櫻井文彌殿	静岡縣	三朝樂殿	岐阜市	三澤田文治郎殿	同	澤本彌平殿	和歌山縣	三業檢番殿	岐阜市	三業檢番殿	同	三業檢番殿	同	三業檢番殿	同	三業檢番殿	同	三業檢番殿	同	三業檢番殿	同	三業檢番殿	同	三業檢番殿	同	三業檢番殿	同

齋藤玄昊殿 東京市

北川吉郎次殿 岐阜市
北川彌三松殿 稲葉郡
北川新治郎殿 東京市
北島長治郎殿 大垣市
喜代福殿 岐阜市
喜久惠殿 同
喜美川の殿 同
喜美の家殿 同
喜多川一の殿 静岡市
木村佐四郎殿 岐阜市
木村作次郎殿 大垣市
木下章殿 岐阜市
木下伍郎殿 東京市

岸澤玉右殿 名古屋市
岸澤駒右殿 同
岸澤式彌殿 同
岸田ゆき殿 岐阜市
菊原の敬次殿 兵庫縣
菊原敬次殿 同
菊池千代子殿 京都市
菊中村殿 岐阜市
菊家殿 同
杵屋六世津殿 同
杵屋六幸惠殿 同
杵屋六花殿 同
金鈴殿 同
京藝妓組合殿 同
玉性院殿 稲葉郡

宮手敬治殿 東京市
三浦正夫殿 岐阜市
三浦濱吉殿 同
三浦三郎殿 廣島市
三輪常次郎殿 愛知縣
三村宏殿 京都市
三宅覺太郎殿 東京市
三品亮太郎殿 岐阜市
三羽徳次郎殿 同
三ツ原宗七殿 同
三戸松佳殿 同
三戸藏殿 大阪府
水野正治殿 岐阜市
水野彦治殿 同
水野熊治殿 同
水野後八殿 同

清元延三造殿 岐阜市
生月銀次郎殿 同
貴志彌次郎殿 東京市

清水清一殿 同
清水金八殿 大垣市
篠田五平殿 岐阜市
篠田義雄殿 同
篠田光次郎殿 同
篠田米吉殿 同
篠田菊次郎殿 同
篠田庄吉殿 羽島郡
柴田久司殿 同
柴田法學殿 稲葉郡
柴田仁作殿 岐阜市
島塚喜代衛殿 稲葉郡
島田廣太郎殿 名古屋市
島田林太郎殿 大阪府
白井弼殿 岐阜市

水野野覺久殿 稲葉郡
水上幸三郎殿 岐阜市
箕浦榮太郎殿 同
箕浦宗吉殿 同
美喜松殿 同
美重咲殿 同
光廣殿 同
美也古殿 同
峰岸幸太郎殿 東京市
養島富美衛殿 同
南次郎殿 京都市
翠茂殿 本巢郡

清水清一殿 同
清水金八殿 大垣市
篠田五平殿 岐阜市
篠田義雄殿 同
篠田光次郎殿 同
篠田米吉殿 同
篠田菊次郎殿 同
篠田庄吉殿 羽島郡
柴田久司殿 同
柴田法學殿 稲葉郡
柴田仁作殿 岐阜市
島塚喜代衛殿 稲葉郡
島田廣太郎殿 名古屋市
島田林太郎殿 大阪府
白井弼殿 岐阜市

清水清一殿 同
清水金八殿 大垣市
篠田五平殿 岐阜市
篠田義雄殿 同
篠田光次郎殿 同
篠田米吉殿 同
篠田菊次郎殿 同
篠田庄吉殿 羽島郡
柴田久司殿 同
柴田法學殿 稲葉郡
柴田仁作殿 岐阜市
島塚喜代衛殿 稲葉郡
島田廣太郎殿 名古屋市
島田林太郎殿 大阪府
白井弼殿 岐阜市

新上	新彌	新登	新榮	芝田	東雲	正康	實相	鹽山	島塚	十六	城真	志岐	志智	白根	白橋
面殿	生殿	美殿	樂殿	いよ殿	樓殿	康殿	庵殿	藏殿	喜代松殿	銀行本店殿	真太郎殿	信太郎殿	彌太郎殿	竹介殿	源治郎殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

重の	松竹	松竹	新松	新久	新ぼ	新久	新松	新玉	新井	新よ	新松	新駒	新花	新若
家殿	月殿	梅殿	枝殿	家殿	た殿	本殿	川殿	家殿	筒殿	し殿	士殿	家殿	家殿	松殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

匹田	東島	久松	久松	平光	平重	廣江	廣井	廣井	廣井	廣瀬	比良	日比	日比	日比	ひ之部
田銳	卯八	松家	松本	光德	重吉	澤次郎	井鶴	井會	井會	精八	良野	比野	比野	比野	
吉殿	八殿	家殿	本殿	松殿	吉殿	郎殿	吉殿	松殿	松殿	八殿	矯殿	平殿	はる殿	肇殿	

森川	森川	森京	森貴	森太	森凌	森雄	森清	森半	森專	森秀	森義	菱田	尾藤
玉三郎	安之助	京子殿	貴一殿	太市郎	凌山殿	雄熊殿	清一殿	半逸殿	專三殿	秀雄殿	義一殿	佐太郎	喜平治
殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

望月	諸戸	毛利	茂木	守屋	森岡	森寺	森山	森下	森本	森島	森嘉	森田	森川
保照	徳兵衛	利永吉	木積善	屋松之助	岡喜八	寺正吉	山好子	下吾助	本順殿	嘉次郎	津美殿	鶴之助	準之助
殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

杉山	杉山	政友	仙石	關根	關屋	關口	瀬古	瀬川	清泰	瀬川	瀬川	瀬川	瀬川
金吾	半次郎	會院外團事務所	勘重殿	國之助	延之助	藤兵衛	安太郎	柳五郎	泰一殿	柳五郎	柳五郎	柳五郎	柳五郎
殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

杉山幸一殿 岐阜市	鷺見喜七殿 同	鈴の家の殿 岐阜市
杉山寶太郎殿 同	鷺見儀三郎殿 同	杉岡惣之助殿 同
杉山勇殿 同	鷺見宮次郎殿 同	角辰之助殿 同
杉山茂市殿 同	鷺見とく殿 同	角新平殿 同
杉山甚之助殿 同	鷺見石之助殿 郡上郡	菅井好耳殿 同
杉山岩吉殿 同	鈴木安兵衛殿 岐阜市	墨國太郎殿 同
杉山喜一郎殿 同	鈴木朝太郎殿 同	翠紅園殿 同
杉山新七殿 同	鈴木猛夫殿 同	住吉殿 同
杉山高賢殿 同	鈴木政七殿 同	末廣殿 同
杉山房次郎殿 稲葉郡	鈴木善作殿 同	栖原啓藏殿 東京市
杉山詮二郎殿 羽島郡	鈴木ゑつ殿 同	龜山孝一殿 東京市
杉森光治殿 岐阜市	鈴木利太殿 大垣市	早川鉄哉殿 同
杉下友之助殿 高山市	鈴木喜三郎殿 東京市	
杉田與三郎殿 京城市	鈴木茂成殿 同	
杉生幸三郎殿 西宮市	鈴木均一殿 同	
鷺見勇八殿 岐阜市		

浄土宗西山派通西空上人略傳 (紀元二三〇六―二三七九)

京都の人。姓は馬杉氏、字は慈空、又通西、或は蓮居と號す。十一歳同地安養寺龍空に投じ、十四歳剃髮し、十六歳專意と共に太秦桂宮院に至り、慈忍慧盤に就いて菩薩戒を受く。自ら嘆じて曰く、浄土の輩は濫りに佛願に托して曾て僧儀に倣はず。吉水の正流混濁すること久しと。仍て堅く律儀を守り、自ら革弊を期す。次いで安養寺の席を補し居ること三年、大に西山の遺風を揚ぐ、時に龍空、伏見安樂行院の東に眞宗院を中興するや、師は專意と共に其の業を助け、又境内に茅菴を結び、行乞して枯澹に甘んず。貞享三年四十一歳にして河内野中寺に於て具足戒を受け、毘尼を研究し開遮を習練す。後眞宗院に住して第三十七世と爲り、又蓮華勝會を開き、日々往生要集を講じて道俗を勸化す。獨湛、高泉の二師亦蓮社を戀ふの故を以て爲に法盟を結ぶ。師天性純孝にして龍空に事へ、日夜間候四十餘年未だ嘗て憊倦せず。正徳年中、眞宗院に結界し、僧伽の淨刹となす。又享保の初め榮純、三河國刈谷に崇福寺を興し師を以て開山第一世となす。同四年十二月二十一日寂す、年七十四、臘三十四、著すところ、蓮門小清規、臨終節要、重修蓮門課誦各一卷あり。合して一帙となし、題して草山法彙と云ふ。慈空和尚行實、續日本高僧傳第九、深草史等出づ。(望月博士、佛教大辭典)

臨終節要并目次

- 一 華嚴經偈
- 二 臨終要訣
- 三 臨終用意
- 四 知死期
- 五 佛祖要語
- 病人用心
- 看病用心
- 雜附

○一 華嚴經賢首品

又放光明名見佛

令隨憶念見如來

見有臨終勸念佛

俾於佛所深歸仰

慈雲懺主ノ云。前ノ四句ハ。佛ノ放光ヲ讚シ。後ノ四句ハ。佛

此光明ノ因ヲ。修スルコトヲ讚ズ。其因ハ。只是レ臨終ノ人

ヲ勸メテ念佛セシメ。并ニ其佛像ヲ示スガ故ニ成佛ノ時此光

明ヲ得ルトナリ。今廣ク深信ノ人ニ勸ム。凡ソ眷屬及ヒ一切

ノ人。臨終ノ時ハ先ツ牀ノ前ニ。佛像ヲ安置シ。彼人ヲシテ

此光覺悟將終者

命終得生其淨土

及示尊像令瞻敬

是故得成此光明

佛ノ放光ヲ讚シ。後ノ四句ハ。佛

此光明ノ因ヲ。修スルコトヲ讚ズ。其因ハ。只是レ臨終ノ人

ヲ勸メテ念佛セシメ。并ニ其佛像ヲ示スガ故ニ成佛ノ時此光

明ヲ得ルトナリ。今廣ク深信ノ人ニ勸ム。凡ソ眷屬及ヒ一切

ノ人。臨終ノ時ハ先ツ牀ノ前ニ。佛像ヲ安置シ。彼人ヲシテ

見セシメ。亦念佛ヲ勸メヨ。若ハ苦痛ニ逼ラレ。或ハ先ヨリ
信心無シテ念佛ヲ肯ハズンバ。須ラク。種々ニ方便スベシ。
下モ十念ニ至ルマデ。重罪ヲ滅シテ。淨土ニ往生ス。此一ノ
利益。不可思議ナリ。若一人ヲ勸メ得テ。淨土ニ生セシムレ
バ縱令自ラ修行セザレトモ。亦佛國ニ生ズ。況ヤ當來ニ。成
佛シテ能光明ヲ放ツテ。一切ノ衆生ヲ照シ臨終ニ見佛セシム
ルヲヤ。多ク世間ノ人ヲ見ルニ。恩愛ノ爲ノ故ニ。頭ヲ聚メ
テ。哭泣スレトモ救ヒ度センコトヲ思ハス。苦哉苦哉。名テ
惡知識トス。恩愛ニ牽サレ。惡道ニ落テ解脱ノ期ナカルベシ
世間ニ五種ノ人アリ念佛ヲ肯ハズ。一ニハ先ヨリ信心ナキト

二ニハ。財寶ニ戀著スルト。三ニハ。妻子ヲ執ズルト。四ニ
ハ。身命ヲ惜ムト。五ニハ。宿業ノ爲ニ。障ラル、トナリ。
死シテ地獄ニ墮ス。願クハ。早ク覺悟セヨ。臨終略式
○二 善導和尚臨終正念要訣
知歸子。問淨業和尚曰。世之大者。莫越生死。一息不來。乃屬
後世。一念若錯。便墮輪廻。小子累蒙開誨。念佛往生之法。其
理甚明。又恐病來。死至之時。心識散亂。仍慮家人。感動正念。
忘失淨因。伏望重示歸徑之方。俾脫沈淪之苦。
師曰。善哉。問也。凡人臨命終時。欲超生淨土者。須預準備。
不得怕死。貪生。常自念。此身多有衆苦。不淨惡業。種種交纏。

若得捨此穢身。超生淨土。受無量快樂。見佛聞法。離苦解脫。乃是稱意之事。如脫臭弊之衣。得換珍御之服。但當放下身心。莫生戀著。凡有病患。莫論輕重。便念無常。一心待死。須囑家人。看病人。往來問候。人。凡來我前。但爲我念佛。不得說眼前閑雜之話。家中長短之事。亦不須輒語。安慰祝願安樂之詞。此皆虛華不實無益之語。若病重命將終之時。家人親屬不得來前垂淚哭泣。發嗟嘆懊惱之聲。惑亂心神。失其正念。但當同聲念佛。助其往生。待臭盡了。方可哀泣。纔有絲毫戀世間心。便成罣礙。不得解脫。若得明曉淨土人。頻來策勵。極爲大幸也。若如此者。千萬往生。必無疑慮也。此是端的急要。

之旨。當信而行。又問。求醫服藥。應不用耶。答曰。此但論用心矣。其藥醫療。初不相妨。然藥只能醫病。豈能醫命耶。命若盡藥。豈奈何。若殺物命爲藥。以求身安。此則不可。余多見世人。因病持齋。方獲少愈。復有醫者。以酒肉佐藥。其病復作。信知佛力可救。酒肉無益也。又問。求神祈福如何。答曰。人命長短。生下已定。何假鬼神延之耶。若迷惑信邪。殺害衆生。祭祀鬼神。但增罪業。反損壽矣。大命若盡。小鬼奈何。空自惶惶。俱无所濟。切宜謹之。當以此文貼向目前。時々見之。免致臨危忘失也。又問。平生未曾念佛。人還用得否。答曰。此法僧俗男女。未念佛。人用之。皆得往生。決無疑也。余多見

世人於平生時念佛禮讚發願求生西方及到病來却又怕死都不說著往生解脫之事直待氣消命盡識投冥界方始十念鳴鐘恰如賊去關門濟何事也況死門事大須自著便宜若一念差錯歷劫受苦誰人相代思之思之若無事時當以精進念佛受持此法是爲臨終大事也

古德ノ云。凡ソコノ一訣ノ中怕死貪生ノ四字コソ。要中ノ要。尤モ眼目ニテアルナリ。夫武士ノ世間ノ道理ヲ強ク立ルモノハ事ニ臨デハ。腹ヲ切り清潔シテ。死ヌルゾカシ。日來後世一大事ト。口ニモ言ヒ。心ニモ念ヒシ人々ノ臨終キタナキコト。思ハンハ。實ニ無下ノ事ニテ有ベシ。サレバ昔シ。敬佛上人。

示シテ云ク。人ゴトニ。道理ヲ。始終トヲサヌガ。第一後世ノ障リニテアルナリ。世間出世ノ至極。タ、死ノ一事也。死ナハ死ネトダニ。存ズレバ。一切ニ。大事ハナキ也。コノ身ヲ愛シ命ヲ惜ムヨリ一切ノ障リハ。起ルコト也。アヤマリテ死ナムハ喜ビナリトダニ。存ズレバ何事モ安ク覺ユルナリ。然ハ我モ人モ眞實ニ後世タスカラント思ハンニハ返ス〜モ。道理ヲ強ク立テ、心ニマケズ生死界ノ事ヲ。モノガマシク思フベカラズ。後世ノ務メハ。心強クテノ上ノコト也ト云ヘリ。善ク茲ヲ思フベシ。

又云。法然上人ノ云。壽命ノ長短。果報ノ淺深宿業ニ報ヘタ

ル事ヲ知ズシテ徒ニ神ニ祈ランヨリモ。一筋ニ彌陀ヲ憑テ二心ナケレバ。不定業ヲバ轉シ給ヘリ。決定業ヲバ來迎シ給フベシ。無益ノ此世ヲ祈ラントテ。一大事ノ後世ヲ忘ル、事ハ。更ニ本意ニ非ズト云々。須ラク潔ヨク。志ヲ立テ、一向ニ專ラ念佛シテ決定ノ念ニ住シ。佛ノ引接ヲ期ツヘキ也。

○三 臨終用意七條

- 一 莊嚴道場 謂ク。遠ク祇洹ノ風ニ倣ヒ宜シク別房ヲ拂拭シテ。日來ノ住處ヲ改ムベシ。若シ別房ナクンバ。佛前ニ寄テ便リヨキ様ニ理ラフヘシ。莊嚴ハ寶蓋寶旛等ソノ力ノ及ブホド。
- 二 安置佛像 謂ク立像三尺ノ金色ナルヲ。安置セヨ。若コレ無

ンバ。時ノ宜キニ隨フベシ繪像モ。明カナルハ可也。佛ノ高サハ。病人ノ臥シナガラ。ヨク拜ミ奉ルホド。

三 淨浴淨衣 謂ク香湯ヲ用テ沐浴シ新淨ノ衣服ヲ著スベシ。若

病人力ナクンバ沙汰ニ及バズ

世人妄ニ經衣ヲ用ヒ來ル。密ニ怪ム。金典鈔法、書シテ以テ、穢體ヲ包ムコト甚タ其理ヲ盡サス。有知ノ人空シク斟酌スベシ若作善造福ヲ。ネガハハ其ノ不如法ナラニヨリハシカジ。如法書寫讀誦。以テ功德ノ最モ大ナルニハ能ヒ此ヲ思ヒ量レ。

四 燒香散華 謂ク衆ノ名香ヲ燒キ花ヲ散シテ供養スベシ。所謂

香ハ佛ノ使ヒ。花果ヲ、ケレバ佛來臨ストモ云ヘリ。

五 上燈上燭 謂ク壇内四ツノ角ニ燈火ヲ挑グベシ所謂。佛ニ燈

燭ヲ上ツレバ命終ノ時。光明ヲ見ルト云ヘリ。

六 引御手絲 謂ク。本尊ノ左ノ頭指ニ懸ケ。行者ノ右ノ頭指ニ。

一〇
紆マドフベシ。所謂。十指ヲ以テ十波羅密ニ。配當ハイカウスルニ。右ノ頭指ツレヲ進指シンシトシ。左ノ頭指ツレヲ力指リキトス。言心イフハ願力ノ強縁ヲ憑ツクミ行者ノ勇進ヲ表スト也。

七鳴ナラス無常ノケイテ磬ケイ。謂ク宜ク。中和ノ音ヲ。發スベシ。甚ダ喧スシキコト無レ。昔シ天台ノ智者大師告テ云ク凡ソ人。臨終ノ時。鐘ショウ磬ケイヲ聞ケバ。正念ヲ増ス。惟長惟久タナガクタマヒサシク。ソノ聲ヲ斷シメザレ氣息ノ盡ルヲ期トス。是也。

○又有ミ七件須知ヘシル
一人命無常ムジヤナリ。平生ヘイゼイスラ。憑ツクミガタシ何況イカニイハンヤ。病中ヲヤ。コノ故ニ同行人。看病人。モロ共トモニ力ヲ合ハセ。時々油斷ナク。

臨終正念ヲ。イノルベシ。

一最後ノ妄念モウケンハ惡道アクダウノ業ナリ。一切世間ノ事。殊ニ。病人ノ貪オン愛スベキ事瞋シン恚イスベキ事ハ敢テ病人ニ。語ルベカラス。又看病人モ互タガヒニ。語ルベカラス。總テ家内ニ。モノ音高クスベカラズ。或ハ病人ノ問コトアラバ。心ニ礙サハラザル様ニ語ルベシ。語り已リナハ。何事モ皆妄想モウゾウナリ唯念佛相續ソウゾクシテ。往生ヲ待ハカリゾト。ソノ機嫌キケンヲハカリテ。勸策セヨ。又病人ノ心ヲ留ムベキ資具財寶サイグザイハウ。及ヒ愛妻愛子等。敢テ近チカヅクベカラズ。又病人ノ心ニ。違タガヒタル人。努々向フベカラス。總テ訪問人ノ出入。一一病人ニ。知ラシムル。無用ノ事ナリ。

一酒肉五辛ヲ。用ヒタラン人ハ何カニ。親シキ縁アリトモ家内

ニ。入ルベカラズ。若入タランハ。必ズ。病人ノ邊リニ。向

フヘカラス。天魔鬼神。ソノ臭氣ニ便リヲ得テ病人狂ヒ死シ

テ三惡道ニ。墮スルカ故ニ。是實ニ。我祖善導和尚。苦口叮

嚀ニ。誠メ玉ヘリ。深ク以テ。謹ムヘシ。敢テ是ヲ忽セニスル

コト無カレ。和尚ノ觀念法門
ニ。見ヘダク。

一病人ノ邊リニハ。三人。其一人ハ。知識スヘカラク。専ラ慈悲ノ念ニ。住シテ佛前ニ向カ
ヒ。病人ニ代リテ燒香散華。心ヲ濃シテ。念佛スヘシ。晝夜知死

期ニ至ラハ。宜シク。病人ヲ諫メテ御手ノ絲ヲ。引カシメ歸命引接ノ想ヒニ住シテ。一時ツ、頻リニ念佛
セシメヨ應ニ此ノ願ヲ作スヘシ。如來ノ本誓ハ一毫モ謬リ無シ。願クハ佛決定シテ我ヲ引接シ玉ヘ。十

念云々。最トモ鐘聲ヲ鳴スヘシ。其二人ハ。看病。一人ハ。近ク牀ノ下ニ在リテ病人ノ眼イロ。且ツハ。
息アイニ。心ヲ保テ靜ニ爲メニ念佛スヘシ。又一人ハ。便リ宜キニ居テ。用事ヲ辨シ外カニ。言ヒ傳ヘヨ。

或ハ。四五人ニハ過ヘカラズ。人多ケレバ。騷シク。其心亂

ヤスキガ故ニ。若日ヲ重テ看病セバ互ヒニ代リテ休ムヘシ。

病人ノ邊ニテ睡ルコト。無ランカ爲メナリ。但シ此三五ノ人。

尤モ擇ベシ。日ク後世ノ志フカキ人。精進ニシテ勇アル人。柔

和ニシテ瞋ナキ人。睡眠アサキ人。縱令ソノ子息ナリ共。菩

提心アリテ病人ノ資助ニ。成ン人ハ。許用ヨ。但シ女人ハ。信

心アリトモ。一向無用タルベシ。生染ノ本ナルカ故ニ。古德。五知
識ノ有ベキ

様ヲ説トイヘ共今專修ノ行
者ナルガユヘニ。是ヲ畧ス。

一凡ソ。病人ハ頭北面西ニ臥シテ。決定往生ノ想。或ハ。歸命

引接ノ想ニ住シテ。一向ニ念佛スベシ。若シ餘念ト。見ユル

トキハ兼約ニ任セ。或ハ。觀相憶念等。ソノ意樂ニ隨テ。勸ム

ヘシ。又時々往生講式。往生要集ノ十樂ナド。讀聞セテ。益々厭欣ノ志ヲ進マシメヨ。又平生其ノ人ノ作ル善根。念佛ノ員數ヲモ記シ置テ。功德ノ大ナルコトヲ讚歎スベシ。又當ニ問ベシ若ハ夢。若ハ現ニモ。何等ノ事ヲカ。見ルヤト。若シ善相ヲ説バ隨喜シテ記セ。若シ惡相ヲ語ラハ即チ爲ニ念佛シ。アイ共ニ懺悔シテ。必ズ滅罪セシメヨ。凡テ善惡ノ相。ミダリニ他人ニ傳フヘカラス。若シ大小吐唾ノ不淨アラハ。有ルニ隨テ。コレヲ除ケ。常ニ病牀ヲシテ。清カラシムヘシ。

一正ニ只今ト。思フトキハ愈室内ヲ寂靜ニシテ更ニ。名香ヲ燒キ。燈燭ヲ。明ラカニシ知識ノ人耳ノ邊リニ寄テ言ヘ。某名ヲヨ

年來ノ本望ハ。此時ナリ。佛コ、ニ引接シ玉フ。決定往生疑ヒ無シ此詞ノ進止。人ニ依リ時ニ隨テ宜クスヘシ但多語スル事ナシ。南無阿彌陀佛無常ノ響一打南無阿彌陀佛響一打乃至十念百念千念モ。亦カクノ如ク。高カラス低カラス病人ノ耳ニ落ルホト。疾カラス。遅カラス。病人ノ出ス息ニ。唱ヘ和スベキ也但シロヲ以テ病人ノ耳ニ。サシツケ。太ダ高聲ニ。唱ヘ入レ。或ハ鐘響ヲ以テ其ノ耳ニサシアテテ。キビシク。打ナラシ。或ハ大鐘ヲ枕ノ上ニテ強ク叩キ。ナン

ド。スル事ハ。尤モ斟酌アルベシ。所謂病人ノ五體ニ。ヒマキ。コタヘテ其ノ苦ミ。堪カタク御テ。正念ヲ失ヒタル由シ。長明發心集ニ記セリ。若ハ頓死ノ人若ハ無証ニ。ナリタラン人ニハ。高聲ニ。耳ニアテ、唱ヘ入ル、モ。可ナラン歟。能ク。是ヲ辨ヘ。知ルヘキ也。

善導和尚ノ云。上盡一形。至十念三念。五念佛來迎シ玉フト。或ハ云。臨終一念。勝百年業ト。亦タ勇シカラスヤ。若クハ。病人口唱スルコト能ハズンハ。西方ニ。佛在ト知テ。往

生スル意ヲ作ト言ヘ。是亦往生ヲ得ル也。大法鼓經ニ。見ヘ
 タリ信スベシ。信スベシ。既ニ終テ後モ。一時アマリ耳ノ邊
 ニテ念佛スヘシ。上ヘハ死セル様ニテ。底ニ微細ノ識アリ。
 或ハ魂去ズシテ死骸ノ邊ニ。アリテ。念佛ノ縁ニ。フルレバ。
 假令惡道ニ。入ルヘキ人モ。即チ淨土ニ生ル、ナリ。

一既ニ息絶ナン後ハ。先ツ加持土砂ヲ以テ。其ノ口中ニ入レテ。

死骸ヲ少シモ動シ綺ヘカラズ。土砂僅カニ。四五粒口中ニ入レバ。死體。スクミ強
 不可思議ナリ知ルヘシ。其功德次ニ佛前ニ屏風。障子。或ハ幕ナントヲ引テ。

死骸ノ不淨ヲ隔ツヘシ。今時死骸ヲ以テ佛前ノ備物ノ如スル。
 極タル僻事ナリ。次ニ死骸ノ邊ニハ燒香ヲ斷サス。一日一夜

バカリ。其儘ニテ置ヘシ。或ハ二十四時ト云説モアリ。時ノ
 宜キニ隨フヘシ。但シ其衣服ヲ薄メ。煖氣ノ去ル様ニ。用意
 シテ時々委細ニ。考ヘ見ルヘシ。煖氣。未タ盡ザレハ。第八識。
 其ノ中ニアリ。若シ其體ヲ損ズルトキハ殺生ノ業ト成ル。謂
 ク。親ナレハ。親コロス過ナリ大ニ是ヲ慎ムベシ。何況ヤ。
 明了ノ意識アル時看病人等。強アタリ。或ハ引起シ。或ハ屈
 ナンドスル。無下ノ事ニテ。アルナリ斷末摩ト云フ風。身ノ
 内ニ起ルトキハ。骨ト肉ト。離ル、也。コノ死苦ニ。病苦ヲ
 副ルトキ。指ニテモ。強ク觸レバ盤石ニ。フル、如ク覺ルナ
 リ。ソノ力。ヨハル故ニ外ニハ見ヘザレ共。内心ノ痛ミ。言

計ナキコト也。噫一生ノ昵^{ニツ}也。只今限リナリ。善知識ト云ヒ。看病人ト云ヒ。唯須^{タカスベク}ラク。大慈惻隱ノ心ヲ致シテ。敢テ疎略ヲ。存スベカラス。又臨終ノトキハ。喉唇カハク故ニ。加持土砂ヲ淨湯ニ和シテ。其ウハ湯ヲ。紙ニ浸シテ。時々少シツ、潤スヘシ。今時ノ諸方。間或ハ。末後ノ水ト稱テ。功德モ無キ水ヲ用ヒ。剩ヘ是ハ某ガ水。是ハ誰カ水ナンド、。名ヲナノリ麤々シク。多ク濺^{ソソ}キ入ル實ニ是。天魔ノ所爲。全ク輪廻ノ絆ナルベシ。恐ルベク慎ムヘシ。又人ヲ外ニ置テ。訪ヒ來ル人ヲバ鷹^{アライシラ}ヒ。歸スベシ。禮義ナレバ。歎クモ歎カザルモ親疎ヲ、ク。舉リヌレバ。心亂^{イダ}レテ。往生ヲ妨^{サマ}グ。總テ佛像ニ非ンス。他

ノ色ヲ。視ルベカラス法音ニ非ンハ。他ノ聲ヲ。聽ヘカラズトハ古德ノ深キ誠メナリ。努々コレヲ忽略ニスルコト無シ。

已上用意。若シ急病頓死ノ緣アラハ慈雲ノ略式ニ依ルヘシ卷ノ初ニ記ス。

○四 知死期

上旬	十日	子	午夜	午	中日	卯	明六ツ	酉	暮六ツ
一二九	十	子	八夜	未	八晝	辰	五晝	戌	五夜
六七八	ハ	寅	七夜	申	七晝	巳	四晝	亥	四夜
中旬	十日	丑	八夜	未	八晝	辰	五晝	戌	五夜
一二九	十	丑	八夜	未	八晝	辰	五晝	戌	五夜

昔ノ時ノ時刻ノ合計
 現今ノ時刻ノ合計
 ノ時ノ時刻ノ合計
 スト左表ノ合計
 如シ
 子午
 午明六ツ
 午前六ツ
 暮六ツ
 午後六ツ
 丑未五ツ
 午前八時
 明五ツ
 暮八時
 午明六ツ
 午前六ツ
 暮六ツ
 午後六ツ
 寅申四ツ
 午前四時
 明四ツ
 暮十時
 午明六ツ
 午前六ツ
 暮六ツ
 午後六ツ
 丑未五ツ
 午前八時
 明五ツ
 暮八時
 午明六ツ
 午前六ツ
 暮六ツ
 午後六ツ
 寅申四ツ
 午前四時
 明四ツ
 暮十時
 午明六ツ
 午前六ツ
 暮六ツ
 午後六ツ
 丑未五ツ
 午前八時
 明五ツ
 暮八時
 午明六ツ
 午前六ツ
 暮六ツ
 午後六ツ
 寅申四ツ
 午前四時
 明四ツ
 暮十時

卯酉九ツ時
 正午三時
 午後三時
 辰戌八ツ時
 午後二時
 午後二時
 午後二時
 已亥七ツ時
 午後四時
 午後四時
 午後四時
 (今ハ午
 前ニ云)

三四五ハ	寅七夜ツノ	申七晝ツノ	巳四晝ツノ	亥四夜ツノ
六七八ハ	子半夜	午中日	卯六明ツ	酉六暮ツ
下旬十日				
一二九十ハ	寅七夜ツノ	申七晝ツノ	巳四晝ツノ	亥四夜ツノ
三四五ハ	子半夜	午中日	卯六明ツ	酉六暮ツ
六七八ハ	丑八夜ツノ	未八晝ツノ	辰五晝ツノ	戌五夜ツノ

右
 知死期ニ。至ルコトニ。知識看病人等。尤モ用心スベシ。凡ソ
 息絶。命盡コトハ。正ク知死期ニアリ。或ハ間。知死期ニ。拘
 ラサルモアリ故ニ云フ。臨終ハ髮筋キル力程ト。努々油斷スヘ

キ時ニ非ズ。具ニハ。上ニ述ルカ如シ知ル應シ。

○五 佛祖要語

病人用心

佛入滅時。告云。當知世皆無常。會者必有離。勿懷憂惱。世相
 如是。當勸精進。早求解脫。以智慧明。滅諸癡闇。世皆危脆。無
 堅強者。我今得滅。如除惡病。此是應捨罪惡之物。假名爲身。
 沒在老病生死大海。唯有智者。得除滅之。如殺怨賊。而得歡
 喜。

守遂法師云。身ハ苦ノ本。衆苦ノ所依タリ。衆生妄ニ執ジテ。
 實トシテ出離ヲ求メズ。大聖生死皆幻ナルコトヲ知シメシテ

永觀律師
淨土宗西山
派洛ノ禪林
寺ノ僧
一天永二日
八月三十日
寂

千觀法師
攝津金龍寺
橋ノ僧俗姓
橋ノ僧俗姓
史敏相初
ナリ父ノ初
メナリ父ノ初
千手觀音ニ
ヲ新願ニテ

生死ヲ示シテ。物ヲ化ス。
雲棲禪師云。身ノ存スルヲ見テハ。悦テ厭ハス。故ニ生ヲ貪ル。身ノ滅スルヲ見テハ憂テ喜ヒズ。故ニ死ヲ怕ル。此レ愚人ノ所以ナリ。智者ハ是ニ反ス。
一永觀律師云。病ハ善知識ナリ。我レ病苦ニ因テ進脩ヲ堅クス。
一雲棲禪師云。病ハ衆生ノ良藥ナリ。我レ大病死ニ垂マントスルコト三たび。病ム毎ニ悔悟ヲ發シ脩進ヲ増ス。
一千觀法師云。臨終ノ三愛。預シメ用心スベシ。謂ク初メ必死ニ臨ムトキ。其所愛ノ妻子等ニ於テ深ク愛心ヲ起ス。是ヲ境界愛ト云。一ツ也。次ニ身心愈ツカレ。命將ニ危カラントス

千觀法師
永觀法師
二月六日
六

聖光上人
筑後善導寺
開山名ハ辨
長阿字仁元
年三月念九
日寂

ル時。先ノ所愛ヲ捨テ。但ダ自體ヲ愛シ。己カ身命ヲ惜ム。是ヲ自體愛ト云二ツ也。後ニ正ク命終スル時。中有ノ現前スルヲ見テ其ノ當有ノ生ニ愛ヲ起ス。是ヲ當生愛ト云。三ツ也。平生五欲ニ著シ深ク身命ヲ惜ム人ハ。臨終ノ時必ス此三種ノ愛ヲ起ス。若夫諸法ノ無常ヲ觀シ常ニ自身ヲ厭惡スレバ。必スシモ起サス。縱令起スト雖トモ。愛執。尤モ輕シ。能々常ニ。用心スヘキ事ニテ有ル也。
一聖光上人亦云。凡ソ往生ヲ願フ人ハ平生但ダ愛執ヲ厭ヒ。粗。着心ヲ離ルヘシ。然ラサレバ。臨終ノトキ三愛ヲ起シ三苦ヲ受ク。一ニハ顛倒苦。二ニハ錯亂苦。三ニハ失念苦也。謂ル三

愛ハ。一ニハ境界愛。謂ク妻子。眷族。財寶。舍宅等。凡テ所屬ノ境界ニ愛ヲ止メテ。出離スルコト能ハズ。喩ヘハ鐵ノ繩。身ニ絆トキハ解カタク切カタキガ如シ。二ニハ自體愛。謂ク福人ハ。福ヲ愛シ、官人ハ。官ヲ愛シ。能アル人ハ。能ヲ愛スル等。凡テ己ガ身ニ於テ愛執ヲ發シテ惡道ニ墮ス。喩ヘハ。石ヲ拘ヘテ。淵ニ入ルカ如シ。三ニハ當生愛。謂ク女人ハ。當來ノ女身ヲ愛シテ皇后皇妃ヲ願ヒ。男子ハ。當來ノ男身ヲ愛シテ國王大臣ヲ願フ等。凡ベテ當有ノ果報ニ愛ヲ發シテ。蓮臺ノ望ヲ絶ツ。喩ヘハ。獄ヲ出ル者ノ。還タ獄ヲ願フカ如シ。悲哉。

法然上人ノ開
淨土宗ノ人
正曆二年
正月八日
美作國久米
人ノ作

齊脫上人ノ開
法相宗ノ人
僧字少辨
原貞少辨ノ
二月三日
九日ノ建
然阿上人ノ
淨土宗ノ
光明寺開
山

一法然上人亦曰。三種ノ愛心。起リヌレハ。魔縁便ヲ得テ。正念ヲ失フナリ。此愛心ヲバ。善知識ノカラ計リニテハ。除キ難シ。阿彌陀佛ノ御力ニテ。除キ申サセ給ベシ。諸邪業繫。無能礙者。憑敷思フベシ。乃至今一徧モ念佛申シテ臨終ニハ佛ノ來迎ニ預リ三種ノ愛心ヲ除キ正念ニナサレ。マイラセテ極樂ニ生ント。願ヒ念フヘキ也。

一解脱上人曰。出離ニ三障アリ。一ニハ所持ノ愛物。持經本尊マテ。二ニハ身命ヲ惜ム。三ニハ善知識ノ教ヘニ隨ハサル。是也。

一然阿上人曰。所謂善知識ハ。大因縁也ト。然バ則チ。病人ハ。

知識ニ於テ佛ノ思ヒヲ爲シテ其教ヘニ隨ヘ。又知識ハ。病人ニ於テ一子ノ如ク。茲ヲ念ヒ。慈愍ノ心ヲ盡セ。

一有云。病人。看病人ノ語ヲ用ヒス。看病人病者ノ意ニ。違アレハ。并ニ。吉羅罪ヲ得ト毘尼母論ニ説キ玉ヘリ。慎ベキカナ。

一有云。行基大士ノ言ク。非淨土。則無愜心處。非聖衆則無隨意人。云々。凡ソ病人ハ始ヨリ此意ヲ得テ看病等ニ於テ。毛頭不足ノ思ヲ存スベカラス。當ニ思ヘ。我身ダニ。我心ニ愜スモノヲ増テ他人ヲヤト。又思ヘ空ク野外ニ。捨ラルベキ不淨ノ身ヲ。同行ノ因ミトテ。カクノ如ク。看病シ。兎角ア

ツカイ給コト。實ニ有カタキ。過分ノ志シカナト。喜悅ノ色ヲアラハシ満足ノ言ヲ述ベヨ。看病人等。是ヲ聞ク時。心イヨク。勇ミアリテ。必ス勞ヲ忘ル、者ナリ。是病人ノ兼テ心得ベキ事ニテ有也。

一又云。何ナル難所ニテ。何ナル難病ニ嬰リ何様ニシテ。終ルトモ。恨ミ惡ンデ。妄念ト成ヘカラス。夫レ現報ハ。皆宿業ヨリシテ來ル。凡ソ衆生ノ宿業。無量ニシテ。死緣モ亦一ニ非ス。縦。刀ニ破ラレ。矢ニ當リ。火ニ燒ケ水ニ溺レ。或ハ重病ニテ兼テ思ヒ儲ケタルニ違ヒ大便利ニ。マブレ死ヌトモ。唯一向ニ念佛ダニ申セバ。決定往生スルゾト。思ヒ取ルベキ也。

我ハ何レノ所ニテ何様ニシテ終ントコソ。念ヒシガナンド、。妄念^{オホク}努々有ヘカラス。

一又云。熱カラン病ニ付テモ。八熱地獄ノ苦ミヲ想像。寒ン病ニ付テモ。八寒地獄ノ苦ミヲ想像。或ハ苦痛タヘガタク。或ハ人ノ恨メシカラニ付テモ。愈惡道ヲ厭ヒ。極樂ヲ欣フベキ也。彼國ニハ。永ク三塗八難ノ怖レナク。四苦八苦ノ患ヘ無クシテ。但ダ諸樂ノミヲ。受ルカ故ヘニ。

一有云。故上人ノ曰。無始ヨリ已來。幾度カ地獄餓鬼ノ大苦ヲサヘ。業ニ引レテ堪忍セシニ此度久シキ。流轉^{ルン}ヲ離レテ極樂ヘ參ラン爲ニハ。何ナル。大病苦。大死苦アリトモ。相構ヘ

テ念佛ヲ弛^{ユル}ブベカラス。病苦ハ皆業報ナリ。業報ニ引レテ又念佛ヲ怠^{オホク}ラハ。無下ニ淺キ。信ニテアルナリ。
一又云。夫武士^{モンノウ}ナドノ。夢ノ世ノ名利ニスラ。敵陣^{テキジン}ニ向テ。面モフラス華々シク。打死スルソカシ。是ハサシモ久シキ。煩惱^{ノウ}ノ大敵ヲ拂ヒ。魔軍ヲカケヌケ。生死ヲ離^{ハナレ}レヌル一大事。努々^{オホク}心弱シテ。カナフベカラスト。只一筋ニ。心ヲ佛ノ相好ニ懸テ。傍目^{ワキメ}ヲフラス。愈々相續シテ口中ニ稱名斷ズ。必死ヲ願ヒ。身命ヲ願ミヌヲ往生ノ大勇力トハ云也。サレハ。佛ノ相好ニ非ンバ目ニ視ザレ。佛ノ名號ニ非ンバ。口ニ言ハサレ。往生ノ事ノ外ハ。心ニ忘レヨトコソ侍ベレ。

一又云。縦令平生ノ行願。ヨハクトモ臨終勇猛ナレハ。一念ニ
 モ上品ニ登ルヨシ。善導ノ御釋ニ。見ヘタリ。相構ヘテ。下
 品ナト心弱ク。願フベカラズ。
 一又云。時々引磬ヲ打セテ聞ケハ。ウカ〜ト。シタル時ノ。
 氣付ニ。ヨキ也。其音ヲ聞タヒニ。急度念佛スヘシ。
 一有云。病人念佛ヲ忘タラントキ。人來リテ。勸メラレバ。有
 難ク思フテ。申スヘシ。又忘レザルトキ勸メラレバ。愈有難
 ク思フベシ、我ハ忘レスシテ。申スモノヲト思ヘバヤカテ嬌慢
 ニ成ル也。忘レザルニ。勸メサセ給ハ。佛ノ加念ニ預ル。御
 利益ゾト心得テ。増信心ヲ。生スベシ。

一寂願房所勞ノ時告テ云ク。日來後世ノ事。兎角好ミ。習ヒツ
 レトモ。今既ニ病牀ニ臨ミヌレバ。只他念ナク。念佛シテ。
 疾ク往生セント。思フ計リ也ト云リ。
 一顯正房ノ云。死ヲ急ク心バヘハ。後生ノ第一ノ。助ケニテ有
 也。
 一有云。死ト。ナ。思ヒ給ヒソ。只生ル、ト。思ヒ給ヘ。
 一有人。臨終ノトキ。預シメ看病知識ノ人ニ約シテ曰ク。我念
 佛相續シテ。往生セント願フ。但恐ル。退屈ノ心。生センコ
 トヲ。之カ爲ニ。今一ツノ方便ヲ。巧ミ得タリ。曰ク我心念
 佛ニ。進マン程ハ。南無阿彌陀ト。申スベシ。各助音シテ南

無阿彌陀ト。答へ給へ。既ニシテ。我退屈ノ心生シナバ。佛ト申ツムベシ。其時ハ。各モ休ミ給へ。若ソレ。我念佛。ヤ、間斷アリト。思ヒ給フ時ハ。各南無阿彌陀ト。申カケラルベシ。我亦タ申シ和スベシ。千徧百徧。乃至十徧。五三ヘンニテモアレ。佛トツメナン時ハ。數ノ滿。未滿。行ノ多少ヲ問ズ。必ス止メ給フベシ。或ハ瘖モルトキ。或ハ正ク終ルトキ。我念佛ノ聲。既ニ斷ヘナン後ハ。各同聲ニ。一心ニ我カ爲ニ念佛シテ助ケテ往生セシメヨト云々。果シテ。終リ善ク。侍ベリキ。

一法然上人云。念佛ハ我カ所作ナリ。往生ハ佛ノ御所作ナリ。

往生ハ佛ノ御料ラヒニテ。爲シメ給モノヲ。兔角爲ント思フバ。自力也。唯須ラク。念佛シテ。稱名ニツキタル。來迎ヲ待ツヘシ。

待_ツ曉_ル天_ノ商_客驚_テ鷄_鳴大_ニ歡_忻淨_土行_人得_テ病_患偏_ニ樂_極樂_ハ。日ニ〜近ク。ナリニケリ。アハレウレシキ老ノ暮カナ。

○看病用心

一有云。夫レ病ヲ。療治セントキハ。善ク方便ヲ知レ。不淨ニ處ストモ厭ハザレ。病ノ増スト減ズト。食藥ノ毒ト。非毒トヲ。ヨク〜。辨_フへ。知ルヘシ。病人若シ。病ヲ増ス。食藥ヲ求メバ。當ニ宜ク方便シテ。諭_フシ語ルベシ。無ト言ハサレ。

覺上ノ人ノ義
直宗ノ祖ナ
派開祖ナ
リノ肥前
津ノ人ノ
治二年ノ
廿八日ノ
四十九日
ノ寂

恐クハ。苦ヲ増サン。但當ニ。教ヘテ。三寶ニ歸依セシメヨ。
或ハ病人。瞋恚。惡口。罵言ヲ生ストモ。默シテ。答ヘザレ。
棄捨セザレ。看病スト云トモ恩ヲ責メザレトハ。善生經ノ說
ナリ。又云我ヲ供養セント欲セバ。當ニ病人ヲ供養スベシ。好
看テ如法ニ。安穩ナラシメバ。大功德ヲ得。諸佛讚歎シ玉フ
トハ。四分律ノ說也。又云。八福田ノ中ニハ看病第一福田ト
ハ。梵網經ノ所說ナリ。慎デ。佛勅ノ。輕カラサル。コトヲ
思ヒ。敢テ此ヲ忽セニスルコトナカレ。
一又云。增一阿含ノ中。看病ノ五失ヲ。說玉ヘリ。一二ハ。良
藥ヲ別タズ。二ニハ。懈怠ニシテ。勇猛ノ心ナキ。三ニハ。

常ニ瞋恚ヲ好ミ。亦睡眠ヲ好ム。四ニハ。但衣食ヲ。貪ルカ
故ニ看病ス。五ニハ。法ヲ以テ供養セサルトナリ。能々慎ム
ヘキモノヲヤ。
一覺鑊上人云。夫看病人ハ萬事ヲ閣キテ。病人ヲ憫ハルベシ。
病人ノ習ヒ。動スレバ。瞋恚ノコ、ロ。生シヤスシ看病人。
努々不足ノ思ヒ有ヘカラズ。唯慈悲ノ心ヲ發シテ。愈憫ハル
ベシ。
一有云。看病人。病人ヲ扱フトキ。退屈ノ心。生ストモ疾ク。往
生アレカシナド。思フヘカラス。一大事ノ砌リナレバ。何ツ
迄モ。扱フベシト。心ニモ思ヒ。且タ病人ヲモ。慰ムヘシ。

若疾ク往生アレカシト。思ヒナバ。殺生ノ報ヲ感スル故ニ。恐ルヘシ。恐ルヘシ。

一然阿上人云。大凡。實シク。人ノ終リヲ。看送ルコト。極タル。大事ニアル也。用心寛シテハ。フツトカナフベカラス。夫レ病人ノ習ヒ漸々能ク成ル様ニテ。終ルモアリ。或ハ始終苦痛ナクシテ終ルモアリ。或ハ息續。急クナリテ終ルモアリ。或ハ次第ニ緩クナリテ終ルモアリ。詮ハ唯目ヲ放ス。意ヲ。カケテ。守護ニアルベシ中ニモ善趣ニ。生スベキ人ハ。終リモ愈ヨク見聞モ明カニ。正念ニナル也。又終リ近ク。ナリタル人ノ能ク言ヘバトテ。ヨモ死ナジナンド。思フベカラス。

動モスレバ。箇様ノ事ニ。バカサレテ實ノ終リヲ見ヌコト多シ。此レハ是レ生死ヲ捨ルノ終リ。菩提ニ至ルノ始メ。唯タ此ノ一刹那ニアリ。故ニ謂。一息不來屬後世。一念若誤墮輪廻ト。願クハ知識。看病ノ諸人。大慈大悲ヲ以テ病人ヲ救護シ實シク。最後ノ斷臭ヲ看送り給へ。

○ 雜 附

一古德云。念佛ノ行者。臨終ノ三疑。兼テ心得ヘキ也。曰ク我レ生ヨリ來タ。惡業極メテ深ク。修行日淺シ恐クハ。往生スルコトヲ。得シト疑フ。一ツ也。又曰我レ人ノ債ヲ負テ。未タ償ハス。或ハ。心ニ願アリテ。未ダ了ラス。及ビ貪瞋癡ノ

トシテ
ムサボリイカリグチ

煩惱未ダ息ス。恐クハ。往生スルコトヲ。得シト疑フニツ也。又曰。我レ今。念佛スト雖トモ。未ダ曾テ見佛セズ。恐クハ。佛ノ來迎ハ。虛妄ナリト疑フ。三ツ也。此ノ三疑障ト成テ。正念ヲ失カ故ニ。往生ヲ得ス。見ズヤ。無量壽經說ク。臨壽終時。不現其人前。不取正覺ト。又觀經說ク。至心念佛一聲除八十億劫生死重罪云々。是故ニ行者。唯要ス。諦カニ佛語ヲ信セヨ。若シ能ク信セハ疑心。永ク斷ヘテ。決定往生スヘシ。又云。凡夫ノ行者。信心念佛スレトモ。或ハ病ヲ受テ。牀枕ノ間ニ。困ムコトアリ。是則チ。宿業ノ當來ニ。地獄ニ墮スベキ事アランニ。念佛ノ功力ニ依テ。重キヲ轉シテ。輕

ク受ク。宜シク忍テ。益念佛スベシ。或ハ又。病苦ニ困ルカ故ニ。自ラ悔悟ヲ發シ。此身ヲ厭ヒ。淨土ヲ欣フ。無智ノ人ハ此等ノ大利ヲ。知ラサルカ故ニ。我レ念佛スルニ却テ病苦アリト云テ。佛ヲ怨ミ。法ヲ謗ル。是ヲ以テ。往生ヲ得ズ。此等ノ事人々。兼テ。心得ヲクベキニテ有ル也。

一然阿上人云。念佛ノ行者ノ終ル時。無證ニ成タルハ。往生ハ不定ナリト。心得ベキカ。曰ク善導上足ノ御弟子懷感法師ノ群疑論ノ中ニ臨終ニ。念佛ノ後。無記ニ成テ。多ク日ヲ經トモ。惡心起ラズンハ。前ノ念佛ノ功德ニテ。往生スベシト釋セリ。誰カ疑ヒヲ懷カン。

一法然上人云。斷末摩ノ苦ミトハ。八萬ノ塵勞門ヨリ。無量ノ病。身ヲ責ルコト。百千ノ鋒劒ニテ身ヲ割カ如シ。見ント思フ物ヲモ見ス。舌ノ根。スクミテ。云ハント思フ事モ。云ハレス。是ハ人間ノ。八苦ノ内ノ。死苦ナレハ。本願ヲ信シテ。往生ヲ願ハン行者モ。死モ遁ザレバ。悶絕スルモ有ベケレ共。息斷時ハ。阿彌陀佛ノ御力ニテ。正念ニ成テ。往生スヘシ。臨終ハ。髮筋キルカ程ノ事ナレバ。餘所ニテ。凡夫定メ難シ。只佛ト行者トノ心ニテ知ルベシ。

一有云。他ヲ譏リ。實不實ニ。ツイテ。人ノ心ヲ傷マシムレバ。此ノ斷末ノ苦報ヲ招クト。顯守論ニアリ。慎ムベキカナ。

一有云。凡ソ人臨終ノ時。魔縁アリトハ。如何心得ベキヤ。又其證文ヲ聞ン。曰ク地藏經下卷。閻羅王衆。讚嘆品說ク。行善人臨命終時。亦有百千惡道鬼神。或變作父母。乃至諸眷屬。引接亡人。令落惡道。何況本造惡者也。云々サレハ昔シ。和州ノ異人。堯信ト云モノ。告テ云。吾徒神力ノ者ノ。三百有餘。人ノ死ヲ伺ヒ。燒害ヲ作スト云ヘリ。事ハ元亨釋書十二ノ卷。ニ見ヘタリ。相構テ慎ベク怖ベキ者ヲヤ。

一覺鑊上人云。知識ノ人兼テ病人ニ。言聞セヨ。凡ソ魔縁ハ。必ス念佛セサル間ヲ伺フ。謂ク心亂ル、時。湯殿ニ在ル時。物ヲ食フ時。腹ノ立ツ時。一人アル時。人ニ對スル時也。サ

レバカ、ラン時モ佛ヲ忌ミ奉ラス。努力テ念スベシ。又起臥
セン。時モ云へ。今御心亂リ玉フナト。私云。念佛申シテ起
キ。又念佛申シ。臥スベキナリ。

一然阿上人云。若ハ業障ニヨリ苦痛ニ責ラレ。物狂ハシキコト
アラバ。須ラク。知識ノ人門々不同八萬四。爲滅無明果業因。
利劍卽是彌陀號一聲稱念罪皆除。此文ヲ讀ミ聞セテ。高聲ニ
念佛スベシ。衆生稱念。卽除多劫罪。諸邪業繫。無能癡者ト。
吁頼ミ有カナ。

一有云。臨終ノ時。他人爲ニ。念佛スレハ。病人功德ヲ得ルトハ。
實ニテ侍ヘル乎。其證文亦如何。曰ク。地藏本願經卷下。稱

佛名號品ニ説グ。若有臨命終。家中眷屬乃至一人。爲是病
人。高聲念一佛名。是命終人除五無間罪。餘業報等。悉得消
滅。是五無間罪。雖至極重。動經億劫。了不得出。承斯臨命
終時。他人爲其。稱念佛名。於是罪中。亦漸消滅。何況衆生。
自稱自念。獲福無量。滅無量罪。也云々サレバ。昔シ唐ニ集
維那ト云僧アリキ。勤タル淨業ナシト雖トモ。臨終ノトキ。
道衆タメニ念佛スルカ故ニ。其功德ニ因テ。忽チ淨土ニ。往
生スト云事。具サニ樂邦文類ノ第四ニ。見ヘタリ。敢テ疑ヲ
生スルコト無ク。只能ク。爲ニ念佛スヘシ。
一道綽禪師云。刀風一タヒ至レハ。百苦身ニ湊ル若シ習ヒ先ヨ

リ。在ラズンバ懷念何ソ辨スベケン。各々宜ク同志三五。預シメ。言要ヲ結ンテ。臨命終ノ時。タカヒニ。相曉シテ。爲ニ彌陀ノ名號ヲ稱ヘテ。安樂國ニ。生セント願セヨ。一タヒ正定聚ニ入ヌレバ。更ニ何ノ憂フル所ヤ有ン。各々此大利ヲ量テ預シメ。尅念スベシ。

一法然上人云。兼テ臨終正念ヲ祈ベシ。日來。イミシク念佛ノ功ヲ積タリトモ。臨終ニ惡縁ニモ遇ヒ。惡心モ發リ侍ラバ。順次ノ往生ニ。ハヅレ。一生ニ生ナリトモ。生死ノ流ニ。苦マンハ。最。口惜事ゾカシ。サレバ。善導和尚ノ勸メ給ヘルハ。願弟子等。臨命終時。乃至上品往生。阿彌陀佛國トコソ

西山派上人
西山國師祖
西國師祖
實治元年
一月廿六日

侍ベレ。イヨ〜臨終ノ正念ハ。祈モシ。願フヘキ事也。臨終ヲ祈ハ。彌陀ノ本願ヲ憑マヌモノゾ。ナンド申ハ。善導ニハ。何ホド勝タル。學生ゾト思フベキ也。アナ淺マシ。怖シ

一西山上人亦云。平生臨終ナレハ。アナガチニ臨終正念ヲバ。祈ルベカラズ。願フベカラズ。尤モ臨終ノ念佛ヲモ。勸ムベカラズ。ナレト。云事ノ聞ヘ侍ベルハ。ユ、シキ僻事ニテ有也唯只須ラク。平生臨終ゾト心得テ。常ニヨク念佛ヲ勵マシ。相續セヨ。出息入息ヲ待サルガ故ニトコソ。心得侍ベシ。ユメ〜。ス、口事ドモ云者ニ。スカサレテ。不善ノ心。アル

ヘカラス。

一法然上人云。兎ニモ。角ニモ。惡ヲ忍ヒテ念佛ノ功ヲ積ムベキ也。習ヒ先キヨリ。アラザレバ。臨終正念モ難シ。常ニ臨終ノ思ヲナシテ。臥ゴト二十念ヲ唱フベシ。サレバ寐テモ寤テモ忘ルルコト。無レトコソ侍ベレ。

阿彌陀佛ト。十聲唱ヘテ。マドロマン永キ眠リニ。ナリモヤゾセン。

臨終節要畢

書臨終節要後

通西故屋卑溼狹陋以故諸徒爲請更移告曰貧納愧未踐道兼菲於德雖有這舉奈何煩累衆人儻或擬之爲無常院貧納亦與諸徒矣諸徒曰所謂無常院之事可得而聞乎曰中國本傳記載祇洹西北角爲無常院若有病人延安其中以凡生貪染視本房內衣鉢衆具多生戀着無心厭背故佛制令至別處堂號無常逝者極多還反一二卽事而求專心念法堂中置一立像金箔以塗其像手中係五綵幡令病人執幡脚直作往生淨刹之意瞻病者燒香散華鳴磬助稱佛號以莊嚴之更爲隨機說法等云々斯舉固善諸徒爲議貧

納屬有_コ幸_リ得_ル彌陀妙相_ハ厥長滿三尺用_テ為_ス臨終助標_ト弗亦美_シ
 哉諸徒聆_テ而孔歡_フ於此乎又摠佛祖古今垂籠節其要略_ヲ輯_ス
 錄茲編以臨終節要目焉時時閱焉以未豫則免臨危忘失_ス
 也庶哉繇是觀之通西之營為亦不全為無用也貞享二年
 歲次乙丑重陽之日通西貧衲慈空題

此書係通西公所輯臨終節要壹本與同志
 同勸請行世伏願以此功德人人臨終
 如意個個登極樂城者
 貴
 貞享丙寅春日
 淨業弟子寶雲光欽識

右

通西空公所輯 臨終節要壹本與同志
 同勸請行世伏願以此功德人人臨終
 如意個個登極樂城者
 貴
 貞享丙寅春日 淨業弟子寶雲光欽識

洛陽書肆 永田調兵衛鉸梓

329
635

昭和十一年十一月十七日印刷
昭和十一年十一月二十四日發行

編輯者 岐阜市北八ツ寺町五番地
川村 數郎

印刷者 岐阜市七軒町十二番地
河田 貞次郎

印刷所 岐阜市七軒町十一番地
西濃印刷株式會社
岐阜支店

終

